

■ 佐渡に伝わる「車田植」子どもたちが合唱

5月20日(金)、佐渡市北鷺島で車田植が行われました。「佐渡の車田植」は、昭和54年2月3日に国の重要無形民俗文化財として指定された風俗習慣で、現在佐渡と岐阜県高山市のみには残っていない貴重な伝統行事です。

この日は、佐渡の車田植保存会の北村会長をはじめ3人の「早乙女」のほか、昨年に引き続き、地元の内海府小学校と中学校の児童生徒9人が参加し、元気よく田植え歌を歌っていました。

渦巻き状に植えられた田んぼは神様が降りる目印となり、豊作祈願を表しているといわれています。



■ 佐渡國鬼太鼓どっとこむ開催

5月22日(日)、両津おんでこドームにて「佐渡國鬼太鼓どっとこむ」が開催されました。鬼太鼓をはじめとした15芸能団体が出演し、1日を通して太鼓や楽器の音が鳴り響いていました。

また、今年は感染症対策を徹底した上で会場での飲食が解禁となり、ずらりと並んだお店に来場者からは「いつもの鬼太鼓どっとこむが帰ってきた」といった声も聞こえました。

実行委員会会長や渡辺佐渡市長は「未来ある多くの子どもたちに佐渡の文化を伝えていきたい」「佐渡の世界遺産登録に向けてみんなで佐渡を盛り上げていこう」といった佐渡の文化の保存継承に向けたメッセージを送っていました。



第5回 佐渡民謡の祝祭 開催決定！

「第5回佐渡民謡の祝祭」が、令和4年7月3日(日)に開催することが決まりました。

テーマは、「つなぐ～佐渡の過去と未来を民謡で～」です。

会場は、アミューズメント佐渡を予定しています。出演団体やプログラムなど、詳細が決まり次第、内容を発信していきますので楽しみにおまちください。



■ クルーズ船「にっぽん丸」、小木港に寄港

5月5日（木）、クルーズ船「にっぽん丸」が小木港へ寄港しました。小木港にクルーズ船が寄港するのは、昨年7月以来です。

約300人の乗客は、午前9時からの歓迎セレモニーで春日鬼組による「子ども鬼太鼓」で出迎えられ、その後、佐渡金銀山やトキの森公園など島内観光に出掛けました。

また、港に設置されたブースに佐渡文化財団も出店し、民芸品やグッズを販売しました。秋津の菅笠やおけさ笠など、職人さんの手作りの商品に興味を持つ方も多くいらっしゃいました。

「にっぽん丸」は、佐渡民謡と送り太鼓に見送られ小木港を午後6時に出港し函館市へ向いました。



■ 宵乃舞を前に、佐渡奉行所前にぼんぼり設置

宵乃舞実行委員会では、6月に開催されます「宵乃舞」のイベントとして、佐渡奉行所前の歩道に雪洞（ぼんぼり）を設置しています。

■第21回宵乃舞～京町音頭流し～

- ・日時：6月3日(金)、6月4日(土)
- ・時間：両日とも、19:00～21:30
- ・会場：相川大工町～京町通り～佐渡奉行所内



佐渡の文化・芸能を支援する、賛助会員を募集しています!!

佐渡文化財団では、研究・調査、文化・芸能の普及活動等をご支援いただける賛助会員を募集しています。賛助会員には特典として、ニュースレターなどの情報提供や特製2022カレンダーを贈呈いたします。

会費は個人1口2,000円、団体・法人1口5,000円です。何口でも、お申し込みいただけます。ご賛同いただける方のご支援をお願いいたします。



○和楽器を貸し出しています。和の音に触れてみませんか。

○民謡など語り、指導にあたる講師を派遣しています。

○民謡や鬼太鼓などで培われた民芸品などのアイテムを通信販売しています。

